

# カンボジア便り

## カンボジアに到着！

カンボジアに到着し、もうすぐ3週間が経とうとしています。カンボジアは日本の今の季節と丁度同じくらい暑く、また雨季のためスコールが降ると蒸し暑くなり、外にいただけで疲れるような天候が続いています。

休みの日には、同期の隊員と一緒にプノンペンの色々な場所を探検しています。東南アジアではよく使われている交通手段である、トゥクトゥクに乗って、市場へ行って活動に必要なものが買えそうなお店探しをするのは楽しいです。



## 学校へGO！

今週はそれぞれの配属校への表敬訪問に行ってきた。私の配属されるバタンバン州は、首都プノンペンより車で5時間半ほどかかります。カンボジアの中でも2番目に栄えている街で、お店も他の外国籍の住人も多い街でした。その中でも配属先のチア・シム小学校は、州内で2番目に大きい学校だそうで、1700人規模、1クラス70名前後の4～6年生の音楽の授業を持つことになりました。

音楽をしていないので、ピアノは1台もなく教員用のピアノも無いそうです。これからも買う予定は無いとのことで、何が出来るかずっと考えています。校長先生と面談した際に、クメール語での自己紹介と、私ができることについて写真を交えて紹介しました。



## クメール語の勉強中…

JICAのカンボジア事務所で語学の勉強がスタートしました。現地のカンボジア人の先生が教えてくれるクメール語は、訓練所で習ったクメール語と少し違うところもあり、「日本語と同じだ！」と感じました。日本語でも、正しい言葉と省略された言葉があります。例えば、「イケメン」など。カッコいい、という言葉以外にも、他に表現する言葉がありますよね。それと同じで、生活する中でより簡単に省略される言葉があるのは、カンボジアも一緒なのだな、と思いました。



### クメール語ってどんな言葉？

クメール語は、日本語とは違って母音と子音を組み合わせる言語です。例えば「**ត**」この字は日本語で発音しようとする、そのままだと「タ」と読みますが、隣に「**ព**」の棒がつくと「ター」と読み、おじさんという意味になります。しかし、「**ត**」このように下に棒が付くと「ト」と読み、机という意味になります。組み合わせで発音が変わるので何通りも読み方があり、意味も全く変わってしまうのでとても難しいです。